

「エホバを賛美し家の方を気遣い、常に堂々と証言する」

(資料: 徒6章47ページ9節, 50ページ18-19節-「栄光の神」について堂々と語る、マタイ7:28-29、使徒4:13、ペテロ第一4:11)

1. 相手を気遣い愛を示そうとして却って消極的で控えめな証言になっていないか?

- ① 家の方が最初から聞くつもりがないと決めて、ワンパターンで消極的な証言になっていないか
- ② まるで「私たちの活動の正しさを理解していただけるはずがありませんよね?」と言っているよう
- ③ まるで「そうですよね。こんな話信じられるはずがありませんよね?」という態度を示しているよう
- ④ 反応に関わらず家の人には良い知らせの情報を得る必要があるが、特に反応の悪い人に対して時間を取りさせたり、悪い気分にさせたりすることを申し訳なく思っていないか(イザヤ 6:8-12)

2. なぜ堂々と証言することは大切か?

- ① 私たちの確信のこもった言葉や態度から良い知らせの重要性を感じ取ってもらえる
- ② さらに私たちの熱意や誠実さを感じ取って、将来関心を持つてもらえるかもしれない
- ③ 残されている時間が少なく人々は命の道を見出す情報を必要としている
- ④ 将来厳しい音信を伝えるよう組織から指示を受けたときに、その指示に直ぐに従えるか?

今から明快に述べる訓練をしておくことは大切

3. 堂々と証言するために何ができるか?

- ① 冒頭でエホバや聖書の素晴らしさを印象づける言葉を含めて訪問の目的を明示する
- ② 相手の方が上だと考えて決して敬意を忘れないようにするが、反応を恐れて良い知らせを伝えることを決してはばからない。
- ③ 自分の立場を述べて訪問の目的を明らかにする
- ④ インターフォンのレンズや家の方の目を見ながら明るく元気にはっきりと証言し、誠実さを伝える
- ⑤ 断られても可能なら、エホバの言葉や希望を残していく

4. 証言例

- ① 全宇宙を創造された真の神エホバから派遣されてこの地域の方々に奉仕している田中と申します。現在の愛の無い世界からの救いの良い知らせをお伝えしています。その良い時代が間もなく到来するしについてお知りになりたいとは思いませんか?
- ② 世界中の 240 以上の地域で一意して聖書を学び、その救いの情報を伝えている田中と申します。現在のこの悪い世界の神がエホバではなく、実は悪魔サタンであることをご存じでしたか?

5. 結論

では今日の奉仕ではエホバを賛美し家の方を気遣うゆえに堂々と証言することに努めていく